

柔道団体銀



混合団体で銀メダルを獲得し、表彰台に立つ日本＝パリ（共同）



フェンシング女子サーブル団体で銅メダルを獲得した（左から）福島史帆実、高嶋理紗、尾崎世梨、江村美咲＝パリ（共同）

フェンシング団体



女子サーブル

銅

【パリ共同】パリ五輪第9日の3日、柔道の混合団体で日本は2大会連続の銀メダルだった。初採用された前回大会に続き決勝でフランスに屈した。フェンシングの女子サーブル団体で江村美咲（25）＝立飛ホールディングス、高嶋理紗（25）＝オリエンタル酵母工業、福島史帆実（29）＝セプテーニ・ホールディングス、尾崎世梨（21）＝法大の日本が銅メダルを獲得。男女を通じてサーブル種目で初の表彰台に立った。

柔道混合団体決勝で日本は東京五輪と同じ顔合わせで、男子の阿部一二三（26）＝パーク24、女子の角田夏実（31）＝SBC湘南美容クリニックの金メダリストを入れて臨んだが、3－3からの代表戦で男子100キロ超級を制したテディ・リネールに屈した。フェンシング女子サーブル団体の日本は3位決定戦でフランスを45－40で下した。日本女子は今大会のフルレ団体の「銅」に続くメダル。準決勝でウクライナに敗れたが、一丸でメダルを確保した。



発行所

山形新聞社

〒990-8550
山形市旅籠町2-5-12
総合案内 023(622)5271
読者センター 023(622)5666
(平日9時00分～17時00分)

(c)山形新聞社2024

2024年

8月4日

<日曜日>

速電
報子
版子



特別号外

■やまがた
ニュースオンライン

yamagata-np.jp

詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

購読・試読の

お申し込みは

フリーダイヤル

0120-81-8040